



座間市議会だより

No.142

平成 19 年 11 月 15 日

発行 座間市議会

編集 議会だより編集委員会

座間市緑ヶ丘 1-1-1

電話 046(255)1111(代表)

9月定例会

一般会計補正予算など可決

新たな議会構成決まる

第三回定例会は八月三十一日に開会し、市長提出議案十九件、議員提出議案十五件、請願一件、陳情九件を審議し、九月二十七日に閉会しました。この議会では、平成十九年度一般会計補正予算や条例改正、さらに水道事業会計決算の認定など多岐にわたり活発に議論されました。また、議長・副議長をはじめとする役員の変更が行われました。



実りの秋 (H19.10 座間1丁目)

一般会計補正予算等

景気は回復しているとの本年八月の月例経済報告ですが、完全失業率は高水準で推移し、地域経済間のばらつきなど、回復を実感できない状況です。

本市では、税源移譲による住民税のフラット化や定率減税廃止等による増収を見込んだものの、納税者の人数や所得が伸び悩み、大規模法人も厳しい状況にあるなど当初予算確保に予断を許せない旨市長から報告がありました。

平成十九年度座間市一般会計補正予算(第一号)は、六千五百四十七万四千円を追加し、総額三百十億五千五百七十六万六千円とするものです。

歳入における主な内容は、地方特例交付金と普通交付税の交付決定によるものです。

歳出における主な内容は、四月一日から旅費における日当を廃止したこと、ペットボトルの処理を有償にて引き取らせるようにしたこと、及びホームページ作成機器賃借料の債務負担行為期間を追加したことなどによるものです。

また、平成十九年度座間市国民健康保険事業特別会計補正予算など四特別会計等の補正予算については、旅費における日当を廃止したことによるものが主な内容です。

これら議案の主な審議内容は、今後の税収見込みと財政運営、市内木造住宅の耐震化の状況と今後の対策、小・中学校の不登校児童対策、並びに、一般会計補正予算における債務負担行為について補正に至った経過及び対策など多岐にわたり審議しました。

審議の結果、九月二十七日の本会議で五会計の補正予算を可決しました。

水道事業会計決算を認定

本市の年間降水量が過去十年間の平均を上回った結果、地下水位は良好で、安定した給水が図られました。

一方、給水人口は前年度より三百六十四人減の十二万六千九百十三人になり、年間配水量も前年度比二十万m³減の千四百四十六万七千m³となりました。

事業収益では、十九億七千五百八十八万八千七百九十一円、水道事業費用は、十八億七千八百五十八万二千五百七十二円となりました。収益の内訳は、営業収益十七億二千四百六十四万二千七百三十五円、営業外収益二億五千二百三十三万六千九百六十一円、費用の内訳は、営業費用十七億七千八百七十二万八千二百四十四円、営業外費用八千四百六十一万四千八百七十七円、特別損失千五百八十四万七千七百一十一円となりました。

施設整備では、継続事業の相模が丘配水池耐震改良工事を完了し、四ツ谷配水管理所受変電設備及びポンプ設備更新の継続事業等に着手し、市長より説明がありました。

市議会では、監査委員の決算審査意見書を参考に、水道料金滞納問題の解決に有効な上下水道管理システムの機能補完と収率向上諸対策の強化、給水原価が供給単価を上回る逆ザヤ問題、三十年を経過した延長三十二キロメートルに及ぶ老朽配水管の布設がえ問題、営業損益段階での初めての赤字計上問題、これらを含めた水道料金改定問題や地域水道ビジョンの考え方など多岐にわたり慎重に審議した結果、九月二十七日の本会議で決算を認定しました。

議長 伊澤多喜男氏 副議長 小野たづ子氏 を選出

議会では、二十七日の本会議で正副議長の選挙を行い、議長に伊澤多喜男氏、副議長に小野たづ子氏をそれぞれ選出しました。

本市議会では、毎年九月定例会で役員改選を行っており、本年も正副議長のほか各常任委員会委員などすべての役員改選を行いました。

就任あいさつ

市民の皆様には、市政に対し深いご理解と協力を賜り、心から感謝申し上げます。



伊澤多喜男議長



小野たづ子副議長

このたび私どもは、議員多数のご推挙をいただき、議長及び副議長の要職に就任いたしました。誠に身に余る光栄に存じますと共に、職責の重大さを痛感しております。

本市では、キャンブ座間への米陸軍新司令部移転問題をはじめ、財政状況など依然として厳しい状況下にありますが、市民ニーズを的確にとらえ市政に反映させていくことが議会の責務と考えます。

微力ではございますが、市政発展と市民福祉向上のために誠心誠意努力してまいりますので、市政並びに市議会への一層のご支援を心よりお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

人権擁護委員に

落合正子氏 吉川慶司氏 を推薦

九月二十七日の本会議に、人権擁護委員の任期満了に伴い、引き続き落合正子氏(南栗原四丁目八番八号)と、新たに吉川慶司氏(緑ヶ丘四丁目十三番四十号)を推薦したいとの議案が提出され、議会では適任者と認め、全員賛成で落合氏、吉川氏の推薦にそれぞれ同意しました。

中澤邦雄議員が総務大臣表彰を受賞

十月十七日に「平成十九年度市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式」が開催され、中澤邦雄議員が受賞されました。

この賞は、地方議会議員として三十五年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があった者に贈られる賞です。